

中学校統合に係る説明会における共通する質問に対する回答集

各小学校、幼稚園、保育所等で開催した中学校統合に係る説明会において、保護者の皆様から出された共通するご質問・ご意見に対する市教育委員会からの回答となります。今後の検討で変更される可能性があることをご承知おきください。

項 目	回 答
統合時期 今後のスケジュール	統合校数の決定、統合校の場所の決定など様々な課題を解決し、安芸高田市議会において条例改正の議決、予算措置等がされてから、施設の設計、整備など要するため、最短でも4～5年は必要と考えています。
小中一貫校	<p>小中一貫校の一番教育効果の出る形は、同じ敷地内に校舎を併設して、9年間の教育課程を組む方法ですが、小学生と中学生の身体の違いが大きいこと、小学生が中学校施設を使うこと、中学生が小学校施設を使うことは難しいと考えます。こうした学校を整備するには、各町で現在の学校用地に施設を新設整備する必要があります。各町の学校施設も老朽化等で既施設の改修が必要な場合も出てきます。</p> <p>現在、安芸高田市においては、小中連携教育を推進し、一定の成果を挙げています。小学校・中学校が、義務教育を修了するときの子ども達の姿を共有し、同じ目標に向かい、それぞれの役割を確認して義務教育課程をさらに進めていきたいと考えています。</p>
施設整備	令和4年3月に文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」最終報告により、1人1台端末環境等に対応したゆとりある教室、机等の整備が推奨されており、子ども達の学習環境をよりよくし、さらに新型コロナウイルス感染症対策として換気機能を十分にしていくため、新たに学校を建設整備していきたいと考えています。
施設の規模	今後10年間の予測により、生徒数は減少していくことが見込まれ、学級数の減少により、教室が過剰になることも考えられます。新たな学校を造る場合には、使われなくなった教室を生徒の多目的ルームや地域の方が使うことができる部屋など他の用途に転用できることも検討していきたいと考えています。
通学	スクールバスを運行する計画があります。現在の中学校の帰宅時間と同じくらいになるよう学校のカリキュラムも含めて、現在の公共交通と併せて今後検討を進めていきます。1校になれば、移動距離や台数が増えるため、スクールバス運行に係る経費は大きくなると試算しています。
冬期の通学	雪などの影響により、スクールバスの運行ができない場合には、1人1台タブレットなどのICT機器を活用し、オンライン授業の実施など検討していきたいと考えています。

項 目	回 答
学級数	生徒数の10年後の予測により、現行の校数のままであれば生徒数のさらなる減少は明らかです。安芸高田市学校規模適正化委員会の答申に基づき「クラス替えが可能な1学年複数学級」の実現のため、一定以上の人数が必要です。仮に1校に統合であれば、10年後においても複数学級の維持が可能であると考えています。
クラブ活動	生徒の人数が多ければ、選択できるクラブ数は増えてきます。現在の各中学校のクラブを合わせれば、体育系クラブ17、文化系クラブ5となり、子ども達の豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られることが期待できます。なお、文部科学省から出されたクラブ活動の地域移行に関する件についても併せて検討していきます。
進捗状況	現在、中学校統合に関わりの深い児童及び園児の保護者を対象にそれぞれ説明会を開催しています。6月以降は各地区学校運営協議会に説明を行っていきます。